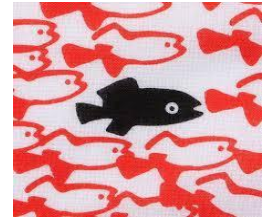


広い世界で 広い視野で 広い心で

今回は、先日の全校集会での生徒指導の永井先生からのお話を一部、載せさせていただきます。便利なはずのスマホが、使い方を一歩間違えれば、人の心を深く傷つける凶器にもなってしまいます。ぜひ、お家でもお話し合いする機会を持っていただければと思います。



「さかなのなみだ」という本を読んだことのある人いるかな。著者は魚の知識がすごく豊富で、いつもフグの帽子をかぶって「ぎょぎょー」が口癖、元気いっぱいキャラクター。タレントのさかなクンが書いた本。今は大学の先生として学生に教えたり、魚の研究をしたりしている。「さかなのなみだ」という本はさかなクンがこれまで経験したことを短い文章エッセイとしてまとめたもの。そこにはこんなことが書いていた。「さかなの世界にもいじめがある」・・・こんな文章から始まります。さかなクンが中学1年生の頃、同じ部活で一緒だった友人に誰も口をきかなくなったときがあった。突然のことでさかなクンはわけがわかりませんでした。ある日一緒に下校していると、ほかの男の子がその子に向かって、小石を蹴とばしてにらみつけている姿をみた。その時にやっと「いじめられているんだ」とわかった。

これって魚の世界と似ていると感じた。例えばメジナという魚は海の中で仲良く群れて泳いでいます。ある日、潮だまりで見つけたメジナの赤ちゃんを15匹ほど家の水槽にいれたことがあった。最初は仲良く泳いでいるのに、成長しだしてから、一匹がすごくいばりだして、別の一匹を集中的にかじったり、体当たりして攻撃し始めた。けがしてかわいそうなので別の水槽にいれました。すると今度はまた別の一匹が攻撃され始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子がでてきます。いじめっこを水槽から出してもあらたないじめっ子があらわれる。広い海ならこんなことはないのに、小さな世界に閉じ込めると、なぜかいじめがはじまる。同じ場所に住み、同じエサを食べ、同じ種類の仲間なのに・・・

中学時代のいじめも、小さな部活動の中で起きた。さかなクンはいじめの子たちに「なんで？」と聞けなかった。でもよく一緒に魚釣りに行った。学校から離れて一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした表情になっていた。話を聞いてあげたり、励ましたりできなかつたけれど誰かが隣にいただけで安心できたのかもしれない。

今、光陽中学校では、せまい水槽のような状況はないかな？周りが見えなくなって、ストレスがたまって、悪口を言ってしまったり、小突いてしまったり、無視したり・・・

これはネットの中でも同じ。先生自身もインターネットを通じて、知らなかったことを知り、できなかったことができるようになった。世界が広がるはずのインターネットが使い方を間違えると、逆に人を傷つけるものにもなってしまふ。インターネットやSNSが「せまい水槽」のようになってしまふ状況はうまれていませんか？ツイッターやライン上で人の悪口を言うようなことは起きていませんか？

先週、先々週、すごく残念な出来事があった。ツイッター上で見知らぬ誰かが光陽中のある生徒になりすまし、悪質なメッセージを送り付けるということがあった。多くの人を傷つける最低な行為。送り付けられた生徒は急に悪質なメッセージが送られ、不安になるし腹が立つ。なりすまされた生徒からすれば寝耳に水。自分の名前が知らないところで勝手に使われ、思ってもいないことを送り付けられる。学校に来たら周りからそういった目で見られてしまふ。これは「いじめ」。絶対に許されない。名誉棄損として犯罪が成立する可能性もある。なんのためにこういったことをするのかわからない・・・。もし何か知っている人がいれば教えてほしい。もし心当たりのある人がいるなら、正直に申し出てほしい。すぐに削除してほしいです。同時にネット上には間違った情報がたくさんあるということを忘れてはいけません。何が正しい情報なのか、見極める力が必要なのです。

さかなクンはこう話す。せまい水槽のような小さな世界で誰かをいじめたり、悩んだりしていても楽しい思い出は残りません。広い世界には楽しいことがたくさんあるのもったいないですよ。広い空の下、広い海へでてみよう。



明日は、いよいよ合唱コンクールです。子どもたちの頑張りをぜひ見に来てあげてください。